



タカノ株式会社

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137
TEL. 0265-85-3150(代)

株主メモ

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会及び利益配当金については毎年3月31日
 中間配当金及び株主優待については毎年9月30日
 その他必要がある時は、あらかじめ公告いたします。

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内1-4-3

同事務取扱所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都江東区東砂7-10-11 (〒137-8081)
 TEL : 03-5683-5111

同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

1単元の株式の数 100株

公告掲載新聞名 日本経済新聞

*お知らせ 当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社ホームページ
<http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html>
 に掲載しております。

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479 (本店証券代行部) 0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)
 インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



地球環境に配慮した大豆油
 インキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています



NAGANO trend

4

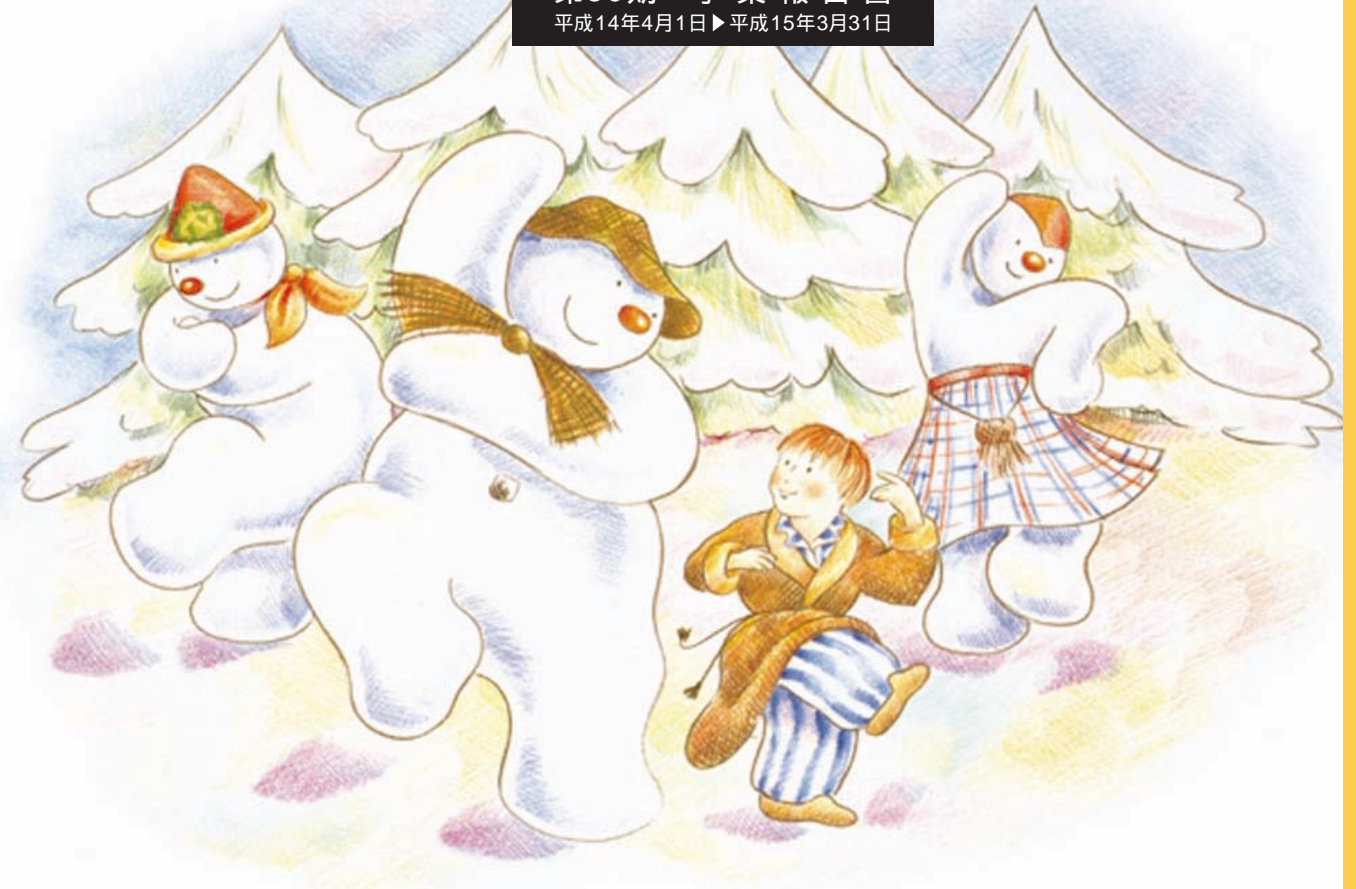
島田娘って誰?

春、雪解けとともに高山の山肌に人や動物の形をした雪形が現れます。
 四月中旬～五月下旬にかけて中央アルプス千畳敷カールの南側に見られるのが「島田娘」です。中央アルプスで最もはつきり、長期間に亘って、横向きの島田髪を結った娘が現れます。
 春の訪れの遅い信州では、昔、農作業の開始を告げる暦代わりとして雪形が使われていました。
 今では春の風物詩として親しまれ、信州の春を彩っています。

タカノ通信 Vol.15

2003/03
証券コード 7885

第50期 事業報告書
平成14年4月1日▶平成15年3月31日



© Snowman Enterprises Ltd. 2003. Licensed by Sony Plaza Co., Ltd.

Takano

タカノ株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 当社の第50期の業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の概況 連結

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出や生産活動など一時的な回復傾向も見られたものの、民間設備投資の低迷や公共投資の抑制などにより、企業収益が悪化する一方、米国経済の先行きの不透明感による個人消費の一段の低迷など、企業を取り巻く環境は従来にも増して厳しい状況で推移いたしました。

このような厳しい環境の中にあって当社は、「真に世の中の変化を認識し、戦略・戦術を明確にして、常に将来への布石を心がけ、量より質を高める経営・仕事を実践する。」という基本的な考えを掲げ、OEM事業分野においては合理化による収益力向上および新製品開発の強化、エレクトロニクス関連分野においては画像処理検査装置の新技术開発と生産体制の強化およびレーザー加工装置の研究開発と営業体制の整備を行ってまいりました。

その結果、企業の設備投資意欲減退にともなうオフィス家具需要の落ち込みはあったものの、エレクトロニクス関連分野の画像処理検査装置の受注が堅調であったこと等により、当期の売上高は18,886百万円で前期比183百万円(1.0%)の増収となりました。

営業利益は前期比で236百万円増加し、990百万円(前期比31.3%増)となりました。これはOEM事業分野における需要

減少ならびにエレクトロニクス関連事業分野における製品価格の下落の影響はあったものの、前期に引き続き合理化や管理間接部門の生産性向上に取り組むとともに、原価管理の徹底、経費の圧縮等、積極的なコストダウンを行ったことおよびエレクトロニクス関連事業に属する連結子会社オプトワン株式会社の業績が対前期比で大幅に回復したことによるものであります。

経常利益は、上記営業利益の影響から前期比で231百万円増加し、1,037百万円(前期比28.8%増)となりました。

また、当期純利益につきましては、前期と比較して製品補修損失が大幅に減少したこと等により、前期比652百万円増加し、560百万円となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国際的な政情不安も増す中、国内経済は株価の低迷、米国経済への懸念などにより民間設備投資の回復も弱含みで推移するとともに個人消費、住宅投資などの先行きも不透明であり、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このように厳しさが予想される経営環境にあって、当社といたしましては、「独自」、「自発」および「俊敏」をスローガンとして経営基盤の拡充に努めるとともに、真にお客様に喜ばれる製品・サービスを提供するべく、品質を経営の第一に位置づけ活動をしてまいります。また、事業展開においては需要拡大が見込まれるニッチ分野へ高付加価値の製品・サービスの投入をすることによって、収益の改善を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

代表取締役社長 鷹野 準

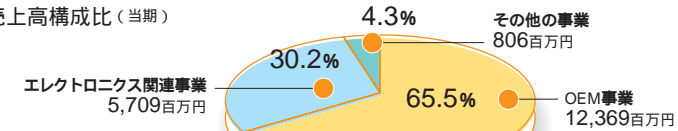
次期連結業績の見通し

売上高	18,580百万円	(前期比 1.6%減)
経常利益	1,340百万円	(前期比 29.2%増)
当期純利益	820百万円	(前期比 46.3%増)

次期単体業績の見通し

売上高	17,700百万円	(前期比 2.1%減)
経常利益	1,300百万円	(前期比 21.8%増)
当期純利益	750百万円	(前期比 22.3%増)

セグメント別売上高構成比(当期)



事業別概況

OEM事業

OEM事業は、オフィス家具、エクステリア、健康福祉・ユニットに大別されます。オフィス家具は、開発および製造部門が一体となり、顧客ニーズやリサイクルを考慮した新製品の開発とコストダウンを積極的に推進したものの、企業収益悪化の影響によるオフィス家具業界の需要減退、加えて市場競争の激化にともなう販売価格の低下の影響は避けられず、売上高は減少いたしました。

エクステリアは、住宅関連投資の低迷の影響など厳しい環境下、新規顧客の開拓など営業活動に注力したものの、既存顧客との取引を縮小したことにより、売上高は減少いたしました。

また、健康福祉・ユニットにおきましては低価格化を指向した部品の海外調達へのシフト、コストダウン要請等あったものの、米国向けの介護用移動機器の販売が増加したため、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は12,369百万円(前期比4.7%減)、営業利益は272百万円(前期比11.5%減)となりました。

エレクトロニクス関連事業

エレクトロニクス関連事業は、当社および連結子会社オプトワン株式会社によって構成されており、電磁アクチュエータおよび画像処理検査装置に大別されます。

電磁アクチュエータは、販売価格の低下の影響はあったものの、積極的な用途開発を進めるとともに金融関連機器向け需要および織機向け需要の増加等により、全体としては増収となりました。

一方、画像処理検査装置は韓国および台湾における液晶パネルメーカーおよび国内のPDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)メーカーの設備投資が堅調に推移したことおよび装置製造体制のさらなる拡充を図ったことにより増収となったものの、装置単価の下落により利益面では厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は5,709百万円(前期比22.6%増)、営業利益は686百万円(前期比33.6%増)となりました。

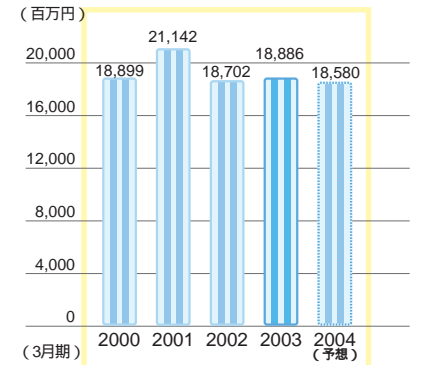
その他の事業

連結子会社である省力化機械等の製造・販売を行っておりますタカノ機械株式会社および工具・機械装置等の仕入販売を行っております株式会社ニッコーが当事業を構成しております。

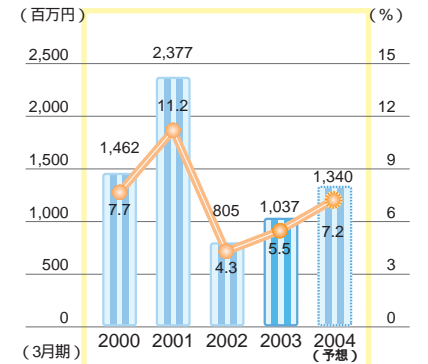
株式会社ニッコー、タカノ機械株式会社ともに、企業の設備投資の冷え込みを受け受注が減少し、減収となったものの、タカノ機械株式会社において積極的な合理化を推進したことにより、同社の損失は大きく縮小し、利益面の改善がはかれました。

この結果、当事業の売上高は806百万円(前期比24.6%減)、営業利益は20百万円となりました。

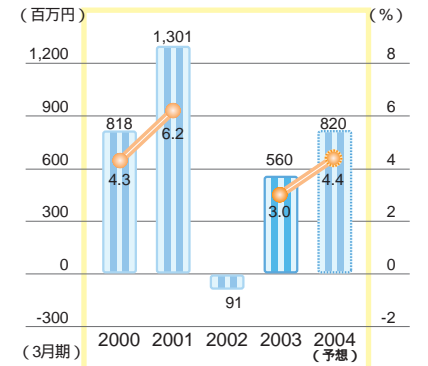
売上高



経常利益



当期純利益



(注)2002年3月期は、当期純損失のため売上高当期純利益率は表示していません。

特集

差別化を図った製品分野で 事業の拡大を図ります

液晶パネルメーカーのニーズに応えた
『フォト・スペーサー高さ計測システム』を開発、販売を開始

画像処理検査装置業界の 現状とタカノの戦略

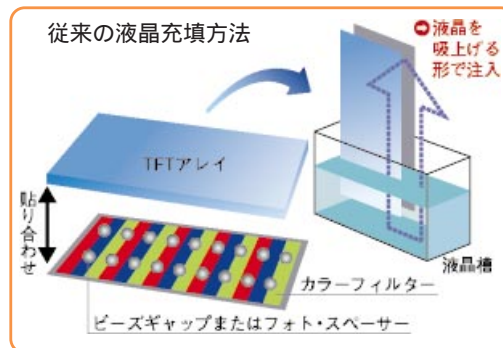
現在、液晶大画面テレビの普及等による液晶パネルの大型化に伴い、大型基板液晶パネルの製造装置にかかる投資が韓国・台湾を中心に活発化しております。この投資活発化により、タカノが製造販売している液晶向け画像処理検査装置市場においては、需要も拡大し続けております。

液晶パネルメーカーの設備投資拡大に伴って検査装置需要も増えている一方、大規模投資需要の取り込みを目的として、液晶パネルメーカーに装置を納入する企業間の競争は激しさを増しており、検査装置においても、単純なパターン検査を行う装置においては価格競争が激化しており、製品単価は下落傾向にあります。

また、液晶パネルの製造工程は、日々進化しており、製造装置・検査装置においては新たなニーズが次々と生まれてまいります。この技術革新に対応し、客先に新たな装置を提案できるか否かが製造装置・検査装置を製造販売する企業の今後を決定づけられると思われまます。

競争が激化している液晶検査装置業界においてタカノは、単純で価格のみの競争に終始する製品分野ではなく、常に技術的な差別化ができる製品分野を指向することによって、高い収益をともなった事業拡大を目指してまいります。

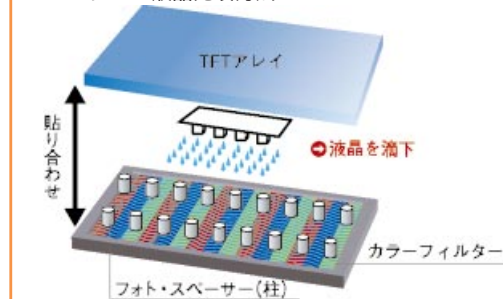
液晶製造プロセス



求められるニーズ

- 時間短縮
- 低投資額
- スペース削減

ODFによる液晶充填方法



液晶パネル 製造工程の変化

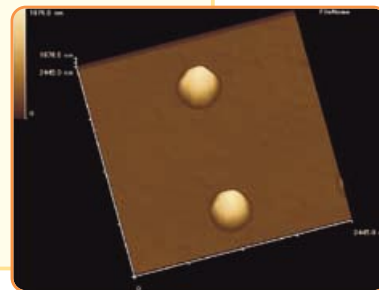
「技術的な差別化ができる製品分野を指向する」ということの例として、新製品「フォト・スペーサー高さ計測システム」について、ご説明します。

現在、液晶パネルメーカーの製造工程における液晶充填方式は「真空注入法」から時間短縮、投資額スペースの削減が可能な「液晶滴下(One Drop Filling)法」へと移行をはじめており、今後もパネルサイズの大型化に伴い「液晶滴下法」の導入が次々と見込まれております。

従来の液晶充填方式である「真空注入法」は「TFTアレイ基板」、「カラーフィルター基板」という2枚のガラスを貼り合わせた後、液晶槽にガラスを浸け、真空で吸引することにより液晶を充填させていましたが、この方式によると大型液晶パネルの場合、約2~3日充填に必要であるといわれております(図1参照)。

一方、新方式である「液晶滴下法」は「カラーフィルター基板」に液晶を滴下したのちに「TFTアレイ基板」と貼り合わせる方式をとるため、大型パネルの場合でも数分間で液晶の充填が可能であるといわれております(図2参照)。

しかし、滴下する液晶量の管理が難しいとされています。充填に必要な液晶量は「カラーフィルター基板」上につくられる柱状の「フォト・スペーサー(以下PSという)」の高さに左右されます。そのため、液晶充填にあたってはPSの高さを正確に計測する必要があります。



◀フォト・スペーサー画像



システム外観

「PS高さ計測システム」について

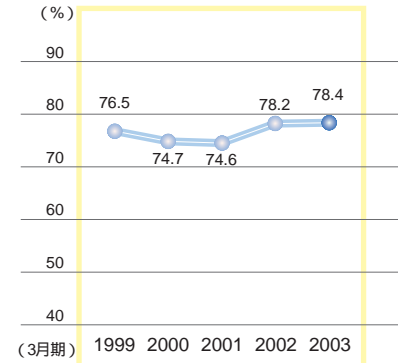
タカノは、以上のような製造工程の変化にともなうPSの高さを正確に計測するというニーズに応え、本年4月業界に先駆けて「PS高さ計測システム」を開発、販売を開始いたしました。この計測システムは、2~5 μ m(マイクロメートル 1マイクロメートルは百万分の1メートル)のPSを10nm(ナノメートル 1ナノメートルは十億分の1メートル)の精度で3次元形状を測定、製造工程での全数検査を可能とするシステムです。

現在、この「PS高さ計測システム」には顧客から多くの受注、引き合いをいただいております。新製品として大きな期待をしております。

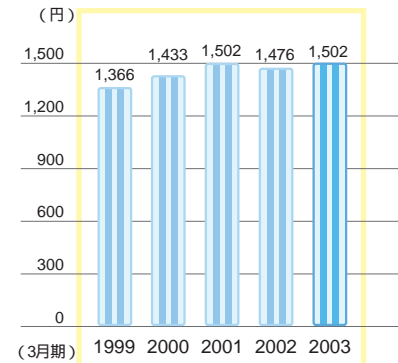
タカノでは、この「PS高さ計測システム」に限らず、技術的な差別化ができる競合他社がマネできない装置の開発に注力し、今後も画像処理検査装置事業の拡大を目指してまいります。

連結決算概要(要旨)

株主資本比率



1株当たり株主資本(BPS)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成15年3月31日	前期 平成14年3月31日	増減
資産の部			
流動資産	17,596	17,441	154
現金及び預金	7,831	7,456	374
受取手形及び売掛金	7,627	7,903	275
有価証券	45	45	45
棚卸資産	1,743	1,670	73
繰延税金資産	124	187	63
その他	236	247	10
貸倒引当金	12	23	11
固定資産	11,947	12,260	313
有形固定資産	7,846	7,998	151
無形固定資産	109	204	95
投資その他の資産	3,990	4,058	67
資産合計	29,543	29,702	158
負債の部			
流動負債	5,197	5,364	167
支払手形及び買掛金	3,588	3,811	222
短期借入金	358	358	358
未払法人税等	193	166	26
賞与引当金	317	365	48
その他	739	1,020	280
固定負債	1,170	1,121	48
長期借入金	246	31	214
退職給付引当金	831	997	166
役員退職慰労引当金	93	93	0
負債合計	6,367	6,486	118
少数株主持分			
少数株主持分			
資本の部			
資本金	2,015	2,015	
資本剰余金	2,157	2,157	
利益剰余金	19,318	19,029	288
其他有価証券評価差額金	63	13	76
自己株式	252	252	
資本合計	23,175	23,216	40
負債、少数株主持分及び資本合計	29,543	29,702	158

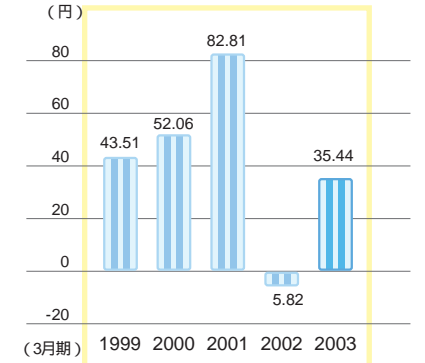
連結財務諸表規則の改正により、当期における連結貸借対照表の資本の部および連結剰余金計算書については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。これにより、前期についても改正後の表示区分に組替えております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	増減
売上高	18,886	18,702	183
売上原価	15,323	15,536	213
売上総利益	3,562	3,165	397
販売費及び一般管理費	2,572	2,411	160
営業利益	990	753	236
営業外収益	76	81	5
受取利息・配当金	43	47	4
その他	32	34	1
営業外費用	29	30	1
支払利息	2	4	2
その他	27	25	1
経常利益	1,037	805	231
特別利益	94	99	4
特別損失	99	670	571
税金等調整前当期純利益	1,032	233	798
法人税、住民税及び事業税	375	409	33
法人税等調整額	96	73	170
少数株主利益		9	9
当期純利益又は純損失	560	91	652

1株当たり当期純利益(EPS)



連結剰余金計算書

(単位:百万円)

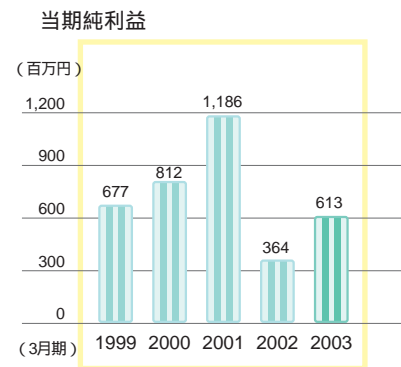
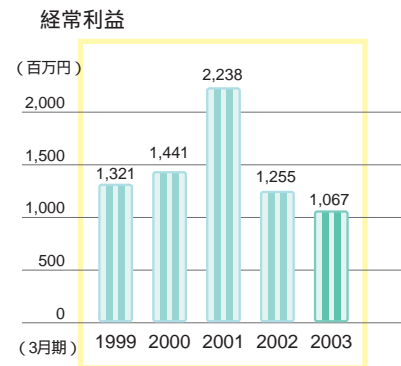
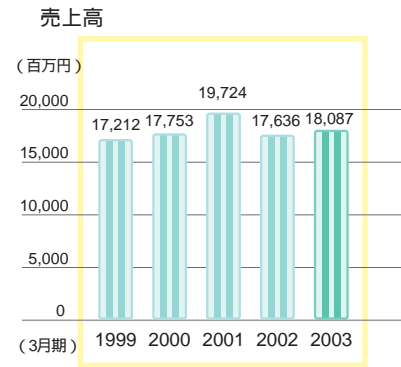
科目	当期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	2,157	2,157
資本剰余金期末残高	2,157	2,157
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	19,029	19,393
利益剰余金増加高	560	
利益剰余金減少高	271	363
利益剰余金期末残高	19,318	19,029

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	803	1,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	645	601
財務活動によるキャッシュ・フロー	38	382
現金及び現金同等物増加額	119	314
現金及び現金同等物期首残高	5,420	5,106
現金及び現金同等物期末残高	5,540	5,420

単体決算概要(要旨)



単体貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成15年3月31日	前期 平成14年3月31日	増減
資産の部			
流動資産	16,706	16,473	233
現金及び預金	7,295	6,995	300
受取手形	399	695	295
売掛金	6,965	6,876	89
有価証券	45		45
棚卸資産	1,570	1,488	81
その他	437	435	1
貸倒引当金	7	18	11
固定資産	12,636	12,990	353
有形固定資産	7,662	7,784	122
無形固定資産	81	164	83
投資その他の資産	4,893	5,041	147
資産合計	29,343	29,463	120
負債の部			
流動負債	4,878	5,060	182
支払手形及び買掛金	3,324	3,591	266
未払法人税等	184	159	25
短期借入金	300		300
賞与引当金	307	343	36
その他	761	966	204
固定負債	1,133	1,085	48
長期借入金	246	31	214
退職給付引当金	806	970	164
役員退職慰労引当金	81	83	1
負債合計	6,011	6,145	133
資本の部			
資本金	2,015	2,015	
資本剰余金	2,157	2,157	
利益剰余金	19,474	19,131	342
その他有価証券評価差額金	62	13	76
自己株式	252		252
資本合計	23,331	23,318	13
負債及び資本合計	29,343	29,463	120

財務諸表規則の改正により、当期における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表規則により作成しております。これにより、前期についても改正後の表示区分に組替えております。

単体損益計算書

(単位:百万円)

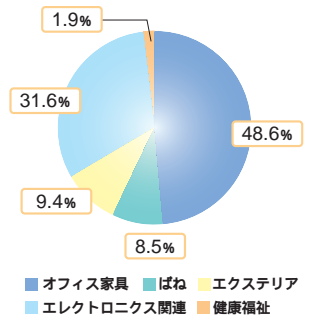
科目	当期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	増減
売上高	18,087	17,636	450
売上原価	14,703	14,300	403
売上総利益	3,383	3,335	47
販売費及び一般管理費	2,362	2,140	222
営業利益	1,020	1,195	174
営業外収益	77	89	11
営業外費用	30	28	1
経常利益	1,067	1,255	188
特別利益	97	102	5
特別損失	99	670	571
税引前当期純利益	1,065	688	377
法人税、住民税及び事業税	357	398	41
法人税等調整額	94	74	169
当期純利益	613	364	248
前期繰越利益	447	553	106
退職手当積立金取崩額	3		3
当期末処分利益	1,063	918	145

利益処分

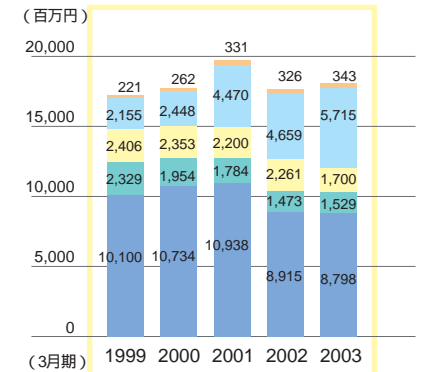
(単位:円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	1,063,639,035	918,070,463
利益処分額	565,840,000	470,757,000
利益配当金	262,140,000 (1株につき17円00銭)	267,257,000 (1株につき17円00銭)
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	3,700,000 (400,000)	3,500,000 (400,000)
任意積立金 別途積立金	300,000,000	200,000,000
次期繰越利益	497,799,035	447,313,463

当期の品目別売上高構成比(単位:%)



品目別売上高推移



Takano CLOSE UP 1

エレクトロニクス関連事業

「産業機器分野」特品工場にクリーンルーム新設

本年4月、エレクトロニクス関連事業「産業機器分野」特品工場にクリーンルームが完成いたしました。

昨年より、半導体製造時に使用するガス流量制御やガスパーナー用のガス流量制御を行う装置向け精密電磁弁の製造を開始していましたが、生産量の増加に伴い、事業拡大を図るため、クリーンルームを設置いたしました。タカノはこのクリーンルーム設置により、「小型・精密」電磁アクチュエータの開発と高品質な製品製造につなげてまいります。

エレクトロニクス関連事業産業機器分野では、ATM（現金自動預払機）等の金融機器、織機、郵便区分機等の郵便機器向けの電磁アクチュエータを主力として

製造販売しておりますが、現在、主力の用途業界にとどまらず、新たな用途業界へ展開し、高付加価値な製品を顧客へ提案するべく、小型電磁アクチュエータ、超精密電磁アクチュエータおよび小型精密駆動ユニット等の開発に注力しております。現在製造を開始しているガス流量制御を行う精密電磁弁はこの開発の一環によるものであります。

今後、この産業機器分野では、需要拡大の見込める用途業界に対して、引き続き開発を強化するとともに、業界におけるニッチ市場をターゲットに積極的な用途提案を行い、ニッチ市場におけるトップシェア獲得を目指して、事業強化を図ってまいります。



Takano CLOSE UP 2

健康関連食品分野

「赤花そば畑一坪オーナー」募集を実施

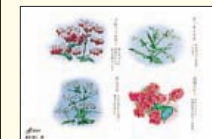


タカノは、健康関連食品等のインターネットWebサイト(<http://www.takano-net.co.jp/soba/>)を立ち上げるとともに、健康関連食品等の通信販売を本格的に開始し、取扱商品アイテムの拡充を図っております。

健康関連食品通信販売の取扱商品アイテム拡充の一環から、昨年実施し、好評をいただいた「赤花そば畑一坪オーナー」を昨年に引き続き募集いたしました。「赤花そば畑一坪オーナー」とは、お申し込みをされたかたに、当社が種苗法登録をしている赤い花の咲

くそば「高嶺ルビー」を栽培している当社契約農場の一坪分のオーナーとなっただけ、収穫までに3回そばの生育状況をお手紙・写真にてお知らせするとともに、収穫後12月には生の八割そば(2食分)をご自宅に直送するというものです。

今後も魅力的な商品アイテムの拡充を図っていくとともに、新たな事業の開拓という視点から、健康食品関連商品の事業化に注力してまいります。



スケジュール	特典
5月 お申込締切 代金のお振込み オーナー証発行	特典 1. あなただけのそば畑 1坪(3.3m ²)分のそば植物自体のオーナーになっていただきます。 2. 赤い花の「高嶺ルビー」も選択可能 赤花そば「高嶺ルビー」もお選びいただけます。 3. らーくらく 手間は一切かかりません。 4. わくわく！そばの成長！ 栽培の状況を収穫までにお手紙・写真で3回お知らせ。 5. そば畑へいらっしやい！ 現地の見学が可能です。 6. 生そばを直送 生八割そば(2食分)をご自宅へ直送 7. 完全保証 不作の場合にも、お客様への生そば2食分は当社で保証
7月 タネまき <芽が出た通信>発行	
9月 満開 <満開通信>発行	
11月 収穫 <収穫通信>発行	
12月 製粉・製麺・そば宅配	

会社概要

商号 タカノ株式会社
 本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
 創業 昭和16年7月1日
 設立 昭和28年7月18日
 資本金 20億1,590万円
 事業内容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、健康福祉機器の製造ならびに販売
 従業員数 446名(平成15年3月31日現在)
 上場取引所 東京証券取引所市場第二部

役員 (平成15年6月27日現在)

代表取締役社長 鷹野 準
 常務取締役 鷹野 力
 常務取締役 野溝 郁文
 取締役 小田切 章
 取締役 大住 之盈
 取締役 有賀 松雄
 取締役 窪田 守男
 取締役 黒田 章裕
 取締役 前田 次啓
 常勤監査役 戸枝 茂夫
 監査役 小笠原 慎
 監査役 長谷川 洋二

事業所

本社 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137
 TEL (0265) 85-3150 (代)
 宮田工場 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村137
 TEL (0265) 85-3155 (代)
 伊那工場 〒399-4431 長野県伊那市西春近下河原5331
 TEL (0265) 72-3147 (代)
 下島工場 〒399-4431 長野県伊那市西春近小平3587-1
 TEL (0265) 73-2088 (代)
 エクステリア工場 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村2053-7
 TEL (0265) 85-4848 (代)
 馬住工場(倉庫) 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂14-353
 TEL (0265) 81-1575 (代)
 横浜工場 〒224-0057 神奈川県横浜市都筑区川和町639
 TEL (045) 931-4424 (代)
 特品工場 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村5450-205
 TEL (0265) 85-3727 (代)
 東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-13-1
 タカノビル
 TEL (03) 3253-8261 (代)
 函館事業所 〒042-0958 北海道函館市鈴蘭丘町3-88
 TEL (0138) 31-9313 (代)

グループ会社

株式会社ニッコー
 住所: 長野県上伊那郡宮田村 資本金: 90百万円
 事業内容: 工具・器具機械等の仕入販売 出資比率: 100%
 タカノ機械株式会社
 住所: 長野県上伊那郡宮田村 資本金: 50百万円
 事業内容: 省力化機械の製造販売 出資比率: 100%
 オプトワン株式会社
 住所: 静岡県藤枝市 資本金: 50百万円
 事業内容: 検査装置の製造販売 出資比率: 80%

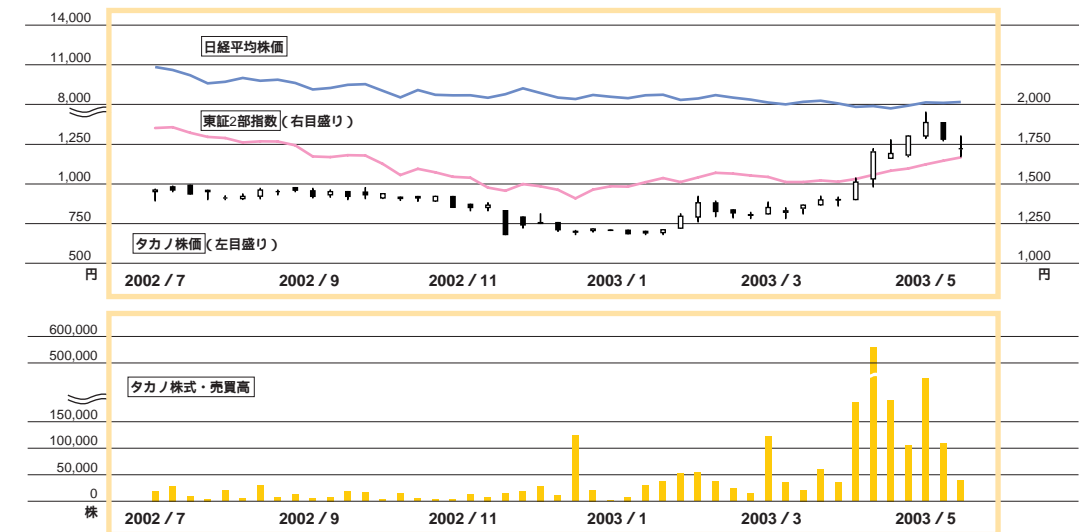
株式の状況

株式・株主の総数
 会社が発行する株式の総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 15,721,000株
 株主数 2,796名
 大株主

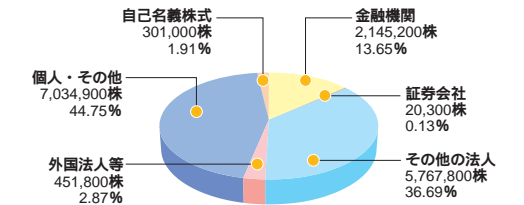
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
コクヨ株式会社	3,151,500株	20.44%
鷹野 準	1,864,700株	12.09%
日本発条株式会社	1,851,500株	12.01%
堀井朝運	1,315,600株	8.53%
みずほ信託退職給付信託日本発条口	1,000,000株	6.49%
鷹野 力	405,900株	2.63%
堀井 良子	343,600株	2.23%
鷹野 ミナ	301,100株	1.95%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	279,200株	1.81%
ザ チェアスマンハットンバンク エヌエイロンドン	270,000株	1.75%

当社は自己株式を301,000株保有しておりますが、上表には記載しておりません。

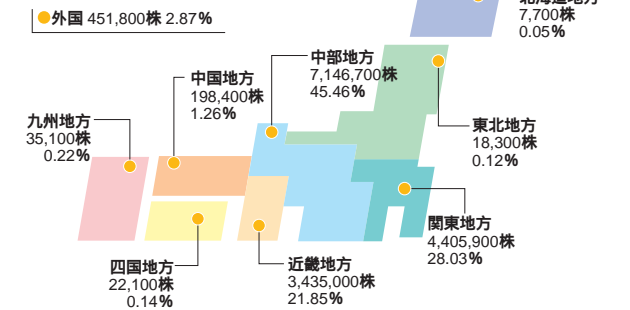
株価の推移



所有者別株式の分布状況



地域別株式の分布状況



ホームページのご紹介

情報満載のタカノのホームページもご覧ください。

<http://www.takano-net.co.jp>



タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。是非ご覧ください。



アンケートご協力をお願い

タカノ通信Vol.13においてお願いをしましたアンケートには多数の貴重なご回答をいただき、誠にありがとうございました。お葉書1枚1枚の向こう側に、株主のみなさまの当社に対する暖かい思いや厳しさなどが感じられ、私ども一同身の引き締まる思いでありました。みなさまのご意見等を今後の事業報告書の編集に活かすとともに、よりよいIR活動の実践に活かしてまいりたいと考えております。

つきましては、お手数ですが、添付しました「アンケートはがき」にお気づきの点を何なりとご記入のうえ、ご返送いただければ幸いです。みなさまのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

株主優待制度のご案内

平成14年度の株主優待は、1,000株以上所有のみなさまへ下記A～Eの5点の商品の中から1点お選びいただき贈呈いたしました。100株以上1,000株未満所有のみなさまへは当社にて製造販売している赤い花の咲くそば

「高嶺ルビー」等の乾麺セットを贈呈いたしました。本年度の優待品もみなさまにおよこびいただけるよう厳選の品をお送りする予定でありますので、ご期待ください。



A. 山ぶどうワイン



B. 信州りんご



C. 高級なめ茸「志賀の郷」



D. 信州のやまいも



E. 信州富士見高原
ハム・ソーセージ

株主優待について

タカノでは、株主のみなさまに対しましての利益還元の一環として、毎年「株主優待」を実施しております。

毎年9月30日現在1,000株以上ご所有の株主のみなさまに、長野県にちなんだ特産品を、また、100株以上1,000株未満ご所有の株主のみなさまに当社オリジナルの品を送付しております。なお、「りんご」など季節の品物をお送りする関係上、11月に優待申込書をご送付し、お申し込みをいただき、12月初旬に品物をご送付という日程で、優待を実施しております。

【お知らせ】

商法改正により、本年4月1日から株券失効制度が実施されました

株主さまがご所有の株券を紛失された場合、従来は裁判所に公示催告の申立を行い、除権判決を受けていただく必要がございましたが、今般、当社の名義書換代理人であるUFJ信託銀行に対して紛失株券を無効とするための「株券喪失登録」を申請し、1年の間異議申出がなければ株券を再発行できることとなりました。

詳しくは当社名義書換代理人までお問い合わせください。

配当金の税制が変わります

平成15年度税制改正により、

- 平成15年4月1日から平成20年3月31日までの間に株主さまが受け取る当社配当金につきましては、源泉徴収率は10%となります。
- 少額配当申告不要制度の上限規制が撤廃され、当社の年間配当受取額が10万円を超える場合も、源泉徴収のみで納税を完了できるようになりました。また、確定申告をして配当税額控除を適用のうえ、総合課税を選択することも可能です。(当社の発行済株式総数の5%以上を所有する個人の株主さまを除きます)
- 源泉分離選択課税制度(35%源泉徴収)は、平成15年3月31日をもって廃止されました。詳しくはお近くの税務署にご確認ください。